

「伝統を有し、進展する日本とパナマの友好関係」

日本国統合の象徴。日本国憲法はそのように天皇陛下について規定している。2月23日、日本の徳仁天皇陛下は61歳の誕生日を迎える。徳仁陛下は、2019年の5月、第126代天皇陛下として即位され、和暦はBeautiful Harmonyを意味する「令和」となる。この日本の新たな時代の幕開けとなる即位の礼に、パナマからコルティソ大統領夫妻に参列頂いたことは二国間関係にとり意義深かった。日本の国祭日を祝うに当たり、この機に日本とパナマの関係について私の期待を述べたい。

日本がパナマと国交を結んだのは1904年で、日本はパナマと国交を結んだアジアで最初の国である。以来、パナマと日本は、民主主義、人権、法の支配という基本的価値を共有するパートナーとして、今年で117周年に及ぶ長年の友好関係を築いてきた。

日本はパナマ運河の主要利用国であるとともに、世界で最も多くのパナマ船籍の商船隊を有し、ともに海洋国家として深い絆で結ばれている。特にパナマ運河は両国に大きな利益をもたらしており、運河拡張の効果は世界貿易の活性化に貢献するとともに日本の安定的なエネルギー資源の輸入の観点からも非常に意義深い。言うまでもなく、パナマは地理学的に優位な条件を有しており、日本企業を含め世界の企業がそのメリットに期待して立地している。今後、パナマが中南米地域のハブとして確固たる地位を築くためにも、各セクターのサービスレベルの一層の向上に期待したい。

パナマの社会的発展のため、日本はこれまで、水産、教育、保健、インフラなど様々な分野で協力してきた。特に、メトロ3号線事業は、中南米最大の円借款事業であり、パナマ国民の生活の質の改善に大きく寄与するものであり、パンデミックからの経済復興への寄与も期待されている。早期着工と着実な事業推進のため、引き続きパナマ政府に協力していく。さらに、昨年6月にE/N署名を行った無償資金協力による保健医療資機材も順次調達されパナマへ届く見込みである。この支援がパナマの保健医療体制の一層の強化に貢献することを期待する。

そして、今年是一年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが半世紀ぶりに開催される。大会のビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」である。パナマ市の姉妹都市の今治市がホストタウンとして、パナマの選手が本番に全力を尽くせるよう日本の環境や文化に慣れるための事前合宿を受け入れる予定である。パナマ選手団の活躍に期待すると共に、世界がパンデミックを乗り越え、ポジティブな変革をもたらす契機となることを確信している。

最後に、私は大使として2018年8月に着任してから、2年半が経過した。着任直後、パナマ外務省とパナマ市が2011年に日本を襲った大震災の犠牲者追悼のため建設して下さった日本庭園を訪れ、パナマの皆さんの気持ちに感激したことを今も鮮明に覚えている。そうした事への感謝の気持ちも含め、引き続き、日本とパナマのパートナーシップの維持向上に努めたい。

（了）